



須坂市立常盤中学校だより

碧空



平成 30 年 4 月 6 日 (金)

第1号

平成 30 年度がスタートしました。本年度も、保護者の皆様、地域の皆様と共に常盤中学校の子どもたちを育てて参ります。ご理解とご協力よろしくお願ひいたします。

「持つ」という生き方と 「なる」という生き方

新しい自分を創るために、中学校生活で大事にしてほしいことをお話します。

「持つ」という生き方と「なる」という生き方です。これは、ドイツのエーリッヒ・フロムという学者の考えで、人間は二つの生き方を求めるということです。

まず、「持つ」という生き方は、ほしいものを手に入れて満足するという生き方です。例えば、「あのゲームソフトがほしいな」と思うと、お父さんやお母さんにねだって、誕生日に買ってもらう。そうやって、自分が持ちたいものやほしいものを手に入れ続けることに喜びを感じて、それが良い生き方だと感じるということです。

一方、「なる」という生き方は、自分が何になるかを目標にする生き方です。例えば、「部活に入って、素晴らしい選手になる」とか「努力して勉強が得意になる」という生き方です。はじめに話した「持つ」という生き方で手に入れたものは、確かにうらやましがられます。でも、持っているあなたを「立派だね」とほめてはくれません。お金を出せば買えるものを持っていても、決して尊敬されないということです。ところが、「なる」という生き方で目標を決めて頑張る人は、尊敬を集めます。それは、「何かになりたい」と一生懸命努力を続けていることを、周りの人は知っているからです。

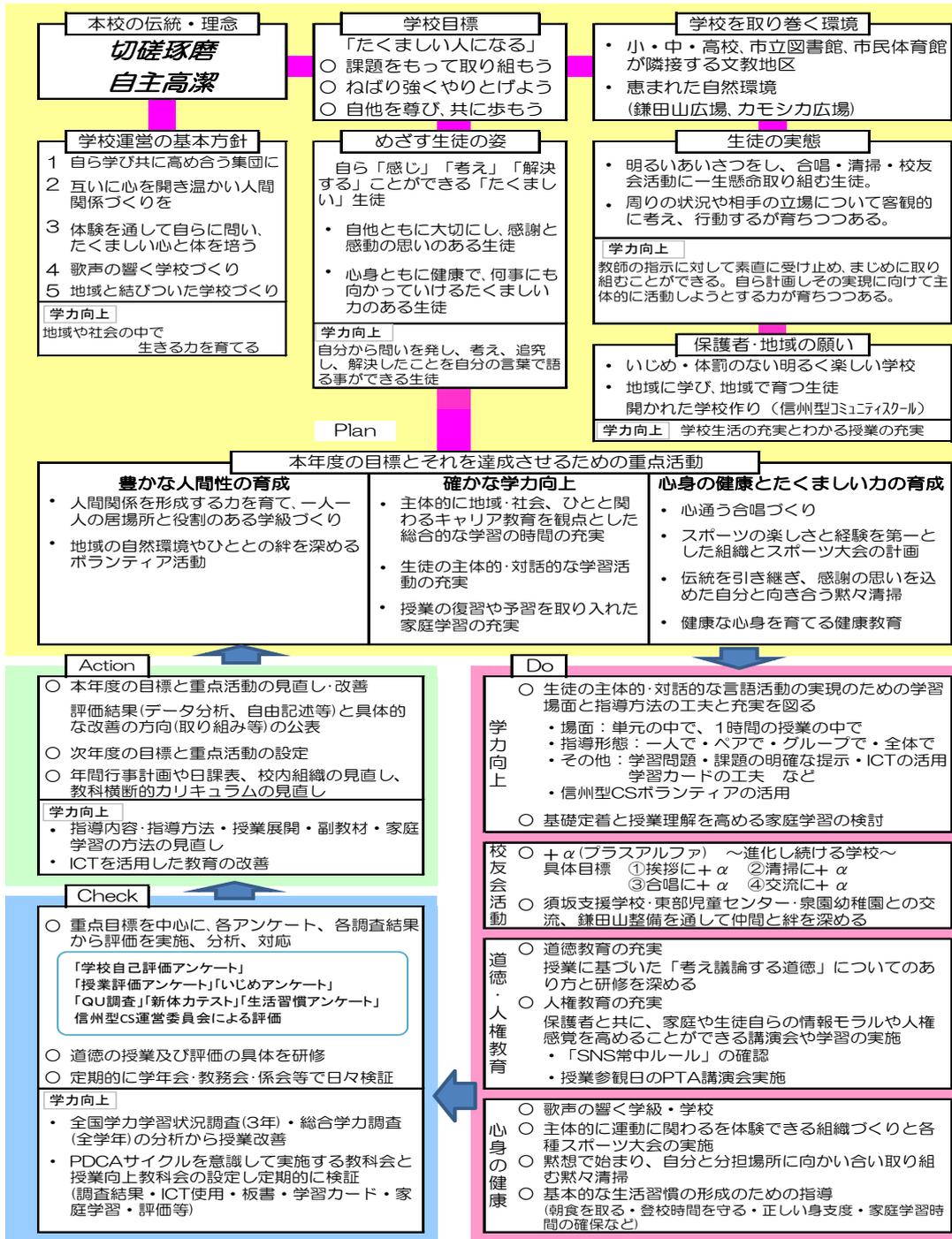
中学校は「自立」に向けて力をつけていくところです。「自立」は、自分で判断し、実行し、目標を達成する中で成し遂げていきます。中学校は義務教育のまとめとして、大人になるための学習をするところです。教科の学習、校友会、部活動など、すべてが「自立」に向けて皆さんを育ててくれる場です。苦しいことや、面倒だと感じることもあるかもしれませんが、しかし、目標を決めて、決して逃げることなく、やるべきことに本気に立ち向かって、大いに自分を鍛えてほしいと思います。新入生のみなさんが、3年間の中で「持つ」という生き方から、「なる」という生き方の大切さを感じる人へと成長を遂げていくことを楽しみにしています。

続いて、2、3年生の皆さん進級おめでとうございます。今日から、344名の常盤中学校、平成30年度1学期が始まります。1学期は、入学と進級を機に新しい仲間を迎え、この1年間の目標を決める時です。皆さんは、学校目標「たくましい人になる」を目指して、努力を重ね、今日まで成長し続けてきています。昨年度は、創立70周年の節目を全校で作りました。いよいよ、創立71年目を迎えます。さらに学校生活を充実させ、多くの学びを得るための努力を重ねてほしいと思います。

皆さんは、イチローという野球選手を知っていると思います。メジャーリーグで活躍し、いくつもの記録を打ち立てた人です。例えば、262安打というシーズン最多安打記録や、プロ野球における通算安打数でギネス世界記録に認定されるなどです。イチロー選手は、262安打の記録を出したときこんなことを言いました。「小さなことを重ねることが、とんでもない所へ行く、ただ1つの道だと思う」

イチロー選手は、常に試合の2時間前には球場に入り、ストレッチを行い、打撃練習をします。一歩でも前進するために内容を工夫しながら、これを繰り返します。もちろん、厳しい練習も繰り返します。この同じことの繰り返しと工夫が、イチロー選手をつくり上げました。皆さんにも、小さなことを繰り返し工夫して行くことで、何かを成し遂げてほしいと願っています。

○本年度、こんな学校づくりを目指します！ ～平成 30 年度 常盤中学校グランドデザインから～



・ グランドデザインには、常盤中学校がどのような子どもを育てたいと考えているか、そのために我々教職員が何を大切に行っているのか示してあります。

・ 保護者の方々、地域の方々のご理解とご協力を今後もよろしくお願いいたします。